



## 電動カーテン/シェードのお手入れ方法

## はじめに

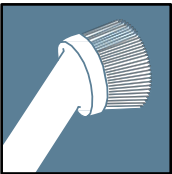
ルutronの電動カーテン／シェードを永くご愛用いただくために、下記のようなお手入れ方法をお勧めしています。

### お手入れ方法とクリーニング方法



#### ハンドモップ

ルutronの電動カーテン／シェードの日常のお手入れのほとんどはホコリの除去です。やさしく手作業によるホコリ取りを行うことが最適です。柔らかい糸や羽のハンドモップをお勧めします。また糸くずの出ない柔らかい布で丁寧に拭き取るのも効果的です。



#### ソフトブラシツールで掃除機をかける

ルutronの電動カーテン／シェードの日常のお手入れのほとんどは、ホコリの除去です。窓の高さなど、ハンドモップの届く範囲でホコリを取るのが難しい場合は、掃除機で吸い取るのが効果的な方法です。ソフトブラシを使うと、吸引力が弱まり、ファブリックやコーニス、ラインの表面に付着したホコリや繊維を取り除くことができます。ソフトブラシツールの無い掃除機で強く吸い込むと、生地が歪むことがありますので、お勧めしません。



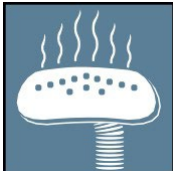
#### 湿った布

ホコリや掃除機をかけても汚れが落ちない場合は、湿らせた布で掃除することができます。清潔な水で軽く湿らせた、白くて糸くずの出ない布を使用してください。余分な水分が出ないように、布を十分に絞ります。軽い力だけでやさしく拭いてください。強く、速く、または過度に擦ると、生地が歪むことがありますので、お勧めしません。



### シミぬき

ルutronの電動カーテン／シェードの生地が汚れたり、シミになった場合は、中性洗剤と水によるシミぬきが適切である場合があります。洗剤は、柔軟剤や漂白剤、アンモニアなどの刺激の強い化学物質が含まれていない布地用のものを使用してください。清潔な布で水拭きし、薄めた洗剤を塗布します。こすらないでください。次に、もう一枚のきれいな布で、透明な水を使ったすすぎを行い、完全に乾燥させます。どのような洗剤も、ファブリックに広く適用する前に、小さな目立たない部分でテストする必要があります。



### 低温スチーム

低温スチームは、ルutronの電動カーテン／シェードの定期的なお手入れ方法としてお勧めしません。ただし、ルutronのコレクションに含まれる多くの柔らかい生地については、シワ取りの手段として低温スチームを使用することは可能です。

## 製品メンテナンス

ルutronの電動カーテン／シェーディングシステムは、製品の寿命までメンテナンスフリーで製造されています。資格のある施工業者によって製品が正しく設置された後は、機械的なメンテナンスは必要ありません。調整または修理が必要な場合は、購入元の販売業者にご連絡ください。

## ファブリックケア

### ローラーシェード

ルutronのローラーシェード生地は、摩耗を防ぐようそして余分な強度にも耐えうるよう製造されています。ルutronのローラーシェード生地は傷みにくく、ほこりや汚れのない状態を保つためメンテナンスはほとんど必要ありません。ファブリックは、定期的にハンドモップや掃除機（ソフトブラシツール付）を使って、ほこりを払うことができます。

汚れた場合は、中性洗剤と水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。その後、清潔な水で十分に拭き、

ファブリックを広げた状態で自然乾燥させます。また、必要に応じて、ビニールやPVCコーティングされた薄手の織物を洗浄し、活性化させることができる多数の修復用ビニールクリーナーも市販されています。どんな洗剤でも、ファブリックに広く適用する前に、小さな目立たない部分でテストする必要があります。

### 特記事項：

裏側には、シミ抜きや洗剤を塗布しないでください。アクリル裏地は必ず乾燥させてください。

#### コーティングされた素材

- 炭化水素系クリーナー（ガソリン、塗料用溶剤など）を含む、コーティングに損傷を与える可能性のある溶剤や研磨剤を使用しないでください。
- 強力な洗剤、消毒剤、特に4級アンモニウム化合物やフェノールを含むものは避けてください。

#### メタルコーティング素材

- メタルコーティングされたファブリックは、損傷を避けるために慎重に扱う必要があります。ファブリックのメタルコーティングされた面には、ハンドモップ、冷たい圧縮空気、低吸音力の掃除機をご使用ください。

## ファブリックケアの続き

### ソフトドレープリー

ピンチプリーツやリップフォールドのドレープ用ソフトファブリックは、ソフトブラシを取り付けた掃除機で日常的にほこりを取ることができます。絹織物や刺繍が施された生地は、ハンディモップを使用してください。

カーテンのクリーニングは、専門業者に依頼することも可能です。詳しくは、お近くのクリーニング専門業者にお問い合わせください。

布地によっては、シワを取るためにスチームを当てることがあります。絹織物にはスチームを使用しないでください。刺繍糸や織込糸を使用した生地は、刺繍の縫い目付近が縮んだり、めくれたりすることがあるため、スチームはお勧めしません。